地震発生時の行動ポイントと避難の流れ

2017年11月
仲笄町会

地域の助け合い「共助」が必要です
日頃からご近所同士のコミュニケーションを図ることが、犠牲者をより少なくすることにつながります。

●自分の身を守る
・机の下などへ
・ガラスや落下物へ注意
・クッション・雑誌などで頭を保護

●避難経路の確保
・家の中から靴を履き、窓や戸を開け、出口を確保
・頭を守り、落下物に注意!

●ガス漏れ、漏電に注意
・避難するときは、ガスの元栓、電気のブレーカーを遮断

地震発生
震度5強【以上】の場合

1～2分 → 2～5分 → 5～15分

無事ですサインの掲示

●火元の確認
・揺れが収まったら、火の元確認と初期消火

●安否確認
・家族の無事を確認
震度5相当の地震発生時は、マイコンメータがガスを遮断します。

●近所の安全確認
・自分の家族や家の安全確認後、近所の安全を確認

●協力し合って救出・救護
・倒壊家屋や転倒家具の下敷きになった人がいたら、近所で協力して救出
・けが人がいたら、応急手当

自宅の倒壊・火災など被害あり

ご家族の安全が確保され、ご自身に余力がある時は、安否確認や近所の助け合いのため、地域集合場所へ集まりましょう。

※但し余震が断続的に発生している場合や経路が危険な状態にある場合は各自で移動の可否・是非を判断してください。

笄公園
地域集合場所

被害状況・安否確認　避難所利用希望者の名簿作成

自宅が無事の時、できるだけ自宅に待機

安否確認後自宅に被害がなければ自宅へ

火災延焼の危険なし、自宅に被害あり

延焼危険がなくなり、かつ自宅に被害がなければ自宅へ

火災延焼の危険あり

青山墓地広域避難場所

自宅の修復が終了し、自宅生活が可能になったら自宅へ

自宅に被害あり

笄小学校
地域防災拠点